

第2回 鞍手町役場新庁舎建設に関する住民説明会 概要

1. 開催日 平成30年12月7日（金）

2. 開催時間 開会 午後7時30分
閉会 午後9時30分

3. 開催場所 中央公民館 第一研修室

4. 出席者 71人

5. 次 第

1) 開会

- ・司会より開会
- ・資料の確認

2) 町長あいさつ

- ・町長よりあいさつ
- ・町長から考え方等説明

3) これまでの経過について

- ・事務局から【資料②】これまでの経過について説明

4) 鞍手町庁舎等建設基本計画（概要版）の説明

- ・事務局から【資料③】鞍手町庁舎等建設基本計画概要版について説明

5) 基本計画の見直しにあたって（町長の考え方）

- ・次第2の中で説明

6) 質疑応答、意見交換

- ・回答のうち、特段の記載がないものは町長が回答

質問者①

- ・建替え後の庁舎の防災面に期待する一方、遠賀川が溢れた場合、浸水しないか気がかりだ。病院に入るような人が、庁舎に避難できるだろうか。

①への回答

- ・（事務局）国の作成したハザードマップを基に検証済みで、浸水はしない。庁舎への進入路は一部水没の可能性はある。

質問者①-2

- ・庁舎への主な進入路が水没するのはどうか。病院から橋を架けてはどうか。また、昔、三

菱の事務所などは土手を造成して 14m の高さに建てたと聞く。参考にしてほしい。

- ・山ヶ崎の丘陵地などを、候補地として検討してほしい。

質問者②

- ・財源があれば建設計画はそのままか。
- ・施設の集約は今の時流だろうが、分散できないか。
- ・現在の建設計画の日程には間に合わないのか。
- ・過疎債以外は町の負担か。

②への回答

- ・財源に関わらず、建設計画を見直したい。
- ・現計画どおりの遂行は困難。
- ・(事務局) 建設費 36.1 億円のうち、財源は、国補助金が 4.4 億円、地方債が 23.2 億円、一般財源が 8.5 億円となっており、町の負担は 31.7 億円ということになる。しかし、地方債のうち 16.8 億円は、過疎対策事業債と市町村役場機能緊急保全事業債という有利な財源で、これらを考慮すると町の実質的な負担見込みは約 22.8 億円となる。

質問者③

- ・間に合わない建設計画より、変更計画の方向性などを提示してほしい。
- ・公約で挙げたようにすぐに委員会を設置するなどして、住民から意見を聞いてほしい。
- ・50~60 年先の未来をどのように思い描いているか。L 字ラインから外れた人はどうなるのか。施設を本当に集約するのか。他の自治体の事例などを参考にしてほしい。
- ・大規模災害はどのレベルを想定しているか。もっと身近な災害(六田川の氾濫など)の対策をしてほしい。また、災害時、中本町からは庁舎に行けなくなる。
- ・現庁舎は昭和 30 年の合併時に決めた場所と聞いている。町の中心に据えるのが重要ではないか。どのみち日程が間に合わないなら、しっかり見直してほしい。

質問者④(質問者③の後をついで)

- ・くらて病院と庁舎の建設計画の見直しに賛成。
- ・病院と庁舎が同じ場所にあると、災害時にどちらも被災しないか。庁舎が被災した時、病院まで防災拠点にできなくなったら困る。

③、④への回答

- ・庁舎と病院の同時被災について、同様の心配をしている。病院と庁舎とで適当な距離を置くのが望ましいと考えている。
- ・平成 31 年度に住民の意見を聞く機関を設置して、適正な配置について考えたい。

質問者⑤

- ・病院と庁舎の集約には疑問を持っている。庁舎は町の中心の高台に建設してはどうか。
- ・旧庁舎の撤去費用はどうか。また新庁舎周辺の整備費用は？
- ・資材をリサイクルするなどして、費用を抑えられないか。町の負担を抑える方向で検討してほしい。

⑤への回答

- ・財源問題は重要な課題で、少ない財源で可能な建替えと公共施設の在り方について模索中。その中で、いかに町民の利便性の高いものを造るかを考えていきたい。

質問者⑥

- ・くらで病院について質問していいか。パブコメでは病院に関する意見もあったようだ。

⑥への回答

- ・くらで病院の住民説明会は、来年開催したい。今日は庁舎建設に関する質問を受けたい。
- ・(事務局) パブコメでは庁舎について意見を募ったが、病院についての意見も出ていた。

質問者⑥-2

- ・小牧墓所を庁舎建設地に選んだのはなぜか。旧北中跡地や体育館の南の空き地などを活用できないか。小牧墓所には文久3年と記録された古い墓もあるのに移転させるのか。前町長や職員の汚職などで財源にゆとりがない中、土地に費用をかける必要があるか。
- ・庁舎等建設検討委員会の経過などを広報誌に載せるなどして周知を図ったか。

⑥-2への回答

- ・検討委員会の資料を見るに、病院と庁舎の集約により利便性を高めたかったようだ。元は野球場と一緒に建設する予定だったが、地盤調査の結果、病院のみの建設となり、その病院から近い町有地を選んだようだ。
- ・選挙の際に建設計画の見直しを公約に掲げたが、ご存知ない住民が多いと感じたため、この住民説明会を開いている。
- ・(事務局) 町の最上位計画である総合計画や都市計画マスタープランなどのまちづくりの基本方針の中で、インターから北九鞍手夢大橋までのルートに施設を集約し、利便性を高めようと計画されている。墓地は大切だが、管理者の方々に相談し理解を得ている。

質問者⑥-3

- ・墓所を選んだのはなぜかと聞いている。3~4億円かかるのではないか。検討委員会でどのように検討されたのか。

⑥-3への回答

- ・検討委員会の話より、計画をどう変更するかについて意見を聞きたい。
- ・委員会では利便性や計画との整合性を重んじたのだろう。

質問者⑦

- ・財源がないなら、計画の遂行は困難ではないか。
- ・いろんな考えはあるだろうが、これまでの検討委員会や議会の意見は重要で、議会制民主主義に則り尊重されるべき。
- ・計画を一から見直すとなると、まとめるのは非常に困難。これまでの計画の延長線上にある変更後の青写真を作成し、町長がリーダーシップをとって進めるべきでは。
- ・様々な意見を聞いたとしても、100%納得を得られる計画はない。
- ・住民説明会に出席するのは、今の計画に意見を言いたい一部の人。出席していない人は、

現在の計画を承認している。

⑦への回答

- ・現計画の生かせるところは生かし、尊重したい。
- ・財源について、今の段階では明言できない。市町村役場機能緊急保全事業債は、庁舎の耐震化率が84%という新聞報道があったので、延長されるのではと希望的観測を抱いている。また、過疎地域の指定は長年延長された経緯があり、いきなり全廃されるとは考えにくい。
- ・庁舎の建替えは必要。

質問者⑦-2

- ・財源ありきなもので、過疎債などに間に合うような計画をまとめてほしい。
- ・一人ひとりの意見を聞いていても、まとまらず、時間が足りなくなるだろう。

質問者⑧

- ・お墓が小牧墓所にあるが、現在の計画を見直すということで間違いはないか。9月に庁舎建設の予算が3千万円ついたと聞いているが。
- ・他に候補地は無かったのか。移転によりお墓まで徒歩で行けなくなる人もいる。庁舎が建たないなら、お墓を残してもいいのでは。
- ・小牧地区はずっと町に協力してきた。自分は4回も土地を提供した。町は住民の意見を聞かない。
- ・町長は他の候補地を具体的に考えているのではないか。

⑧への回答

- ・公約どおり、現計画は見直したい。
- ・小牧墓所の移転地の造成費として、予算がついている。
- ・基本計画では庁舎を小牧墓所の跡に建設するとしており、既に墓所の移転は進んでいる。
- ・小牧の町有地は一等地なので、今後有効活用したい。
- ・他の候補地について個人的な考えはない。住民と共に考え検討したい。

質問者⑨

- ・海拔の低いところに住んでいる。産業道路は今より高かったが、水没したことがある。ぜひ高いところに建設してほしい。

質問者⑩

- ・くらて病院と同じで、計画見直しをやめるのではないか。
- ・くらて病院の説明会がなかったのはなぜか。
- ・小牧墓所の移転について予算が付くのはおかしくないか。
- ・新庁舎はいつ建設されるのか。この説明会の意義は。

⑩への回答

- ・現在の建設計画は有効であり、計画に基づいた予算が承認されたということ。
- ・今後は計画を見直したいと考えている。

- ・病院に関する質問は、この説明会の主旨から外れている。
- ・建設計画周知のため、今回の説明会を開催した。

7) 閉会

- ・司会より閉会